

静岡県議会レポート

県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL054-221-3510

浜松市西区入野町9860-1 TEL053-440-7100

浜松市西区 田口 章



豪雨災害対策費などを議決

静岡県議会9月定例会報告

県議会9月定例会は9月21日から10月13日まで行われました。

議決した一般会計補正予算は約82億円。6月の大雨被害等への対応に約68億円、当初予算編成後の環境変化に対応して13億円余を計上しました。補正予算のポイントを裏面に記載しましたので、ご参考いただければと思います。

条例改正では、川勝知事の給与と期末手当等約446万円を減額する「知事の給与の特例に関する条例」が耳目を集めました。議会是不適切な発言などに注意するよう附帯決議を付けて可決しました。令和3年11月の「辞職勧告決議」に端を発し6月定例会では「不信任決議案」の提出に至ったこの問題は一区切りとなりました。

リニア中央新幹線南アルプストンネル工事 最近の状況

今年度「危機管理・くらし環境委員会」に所属しています。委員会の大きな課題が「リニア問題」です。

「静岡県が工事を遅らせている」、「知事がゴールを動かしている」など批判を受けることがあります。そうではありません。法律に基づき「環境影響評価手続き」に沿って、県とJR東海で対話を続けていることをご理解願います。現在の課題は大きく3つ。「水」「土」「生態系への影響」です。

◆水について

JR東海は、「工事の一時期(先進坑がつながるまでの間)、山梨県側に水が流出する」としており、この解決策が求められています。最近注目されているのが「田代ダム取水抑制案」です。「冬場の渇水期は大丈夫か」との意見もありますが、解決策のひとつになるのではと考えられています。

◆土について

静岡工区ではトンネルを掘ることにより約370万 m^3 の掘削土が出るとされています。通常の土(約360万 m^3)はツバクロという場所で、自然由来の有害物質を含む土(約10万 m^3)は藤島という場所で処理する計画です。県は、ツバクロはJR東海の被害想定シミュレーションが不十分、藤島は条例上不適切と考えています。

◆生態系への影響について

生態系への影響もまだ有識者会議で議論中です。「第13回環境保全有識者会議」で報告書(案)が示されましたが、県はまだ十分でないと考えています。

◆県西部のみなさまへ

浜松周辺のみなさまは、「リニアができると浜松駅に停まる新幹線が増えて便利になる」と期待している方がたくさんいらっしゃいます。私もそう思います。しかし県議会議員としては、まず大井川流域住民の不安(=水と土)の解消が第一と考えています。引き続き、環境と経済の両立を目指しリニアの解決に向けて取り組んでいきます。

◆詳しい解説は右の二次元コードで(私のオフィシャルサイトにリンクしています)



補正予算のポイント

○豪雨災害対策

6月2日から大雨被害等への対応として、土木施設等の復旧・改良、被災者の生活再建支援などに68億円余を計上しました。安全・安心の確保に最優先で取り組みます。

○脱炭素社会実現推進事業

中小企業等の脱炭素経営への転換を支援するため、省エネ設備導入経費に対する助成制度を当初予算で5億円を計上しましたが、申請が相次ぎ6月末までに受付終了してしまいました。今回さらに8億円を追加し、事業者のみなさまのカーボンニュートラル対応を支援します。

○スタートアップ支援事業

新たなスタートアップの創出・育成に向け、今年度、静岡市内に県が設置したイノベーション拠点施設「SHIP」に相談支援体制を強化するとともにビジネスプランコンテストを開催します。次代を担う産業育成にスタートアップ支援は不可欠です。

○地域公共交通 DX 推進事業

県は、国・市・事業者と連携し、路線バスに電子決済で乗車できる機器の導入を支援します。今回の補正予算では遠鉄バス90台にタッチ式クレジットカード決済で乗車できる機器を設置予定です。これまで遠鉄バスでは「ナイスパス」しか使えませんでした。県内外からの観光客を含め利便性の向上が期待されます。

決算審査の基本は「地方自治法 2 条 14 項」にあり

静岡県議会では10月27日から11月7日にかけて決算特別委員会を開催します。

決算審査の進め方は議会によって様々ですが、静岡県議会では常任委員会ごとに所管部局の審査を分科会方式で行います。

行政関係者には予算審査に重きを置き、「決算はもう済んだこと」と軽視する人がいます。しかし私は決算こそ重要と考えています。

地方自治法2条14項には「地方公共団体は、その事務を処理するに当つては、住民の福祉の増進に努めるとともに、**最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。**」と書いてあります。事業の費用対効果の検証は重要で、議会には常にチェック機能と業務改善が求められています。

ふじのくに県民クラブは今年度、1期2期の政調会メンバーを中心に、事業の廃止・見直しのため各部局のヒアリングを進めました。たとえ少額の事業であっても人件費はかかります。ムダな事業は事業費の大小に関係なくメスを入れる必要があります。

この号を配布する頃には決算審査は終わっていると思いますが、来年度予算編成に向けて、事業の廃止・見直しを厳しくチェックしてまいります。みなさまのご意見をお聞かせください。



FMHaro! 76.1MHz

KENGI DE Night (県議でナイト)

月水金の夜、FM Haroで県政のホットな話題をお届けしています。担当するのは県西部の会派メンバー9人。私は毎月第4月曜日19:30-20:00を担当しています。お聴きくださいね。



創ろう!元氣な浜松&静岡県

田口 章 は持ち前のフットワークで、元氣いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。



田口 章 で 検 索

